

# (仮称) UBE アートコミュニティの設立について

日時 2020年1月28日(火) 15時～  
場所 文化会館 第1研修室

アートによる地域活性化

場所 +

ひと +

+

ひと

アート

→ まちの創造的発展

“+”が「アートコミュニケーター」の役割

## 仮称 「UBEアートコミュニティ」ってどんなところ？

### ひと・もの・ことをつなぎ、まちの創造的発展と人を育てる。

一人ひとりの創造性をささえる。あたらしい表現の可能性をひらく。すべての人に開かれたアートとの出会いをつくる。それが仮称「UBEアートコミュニティ」のミッションです。

宇部市は、明治期以降の石炭産業の隆盛による利益を化学工業への転換や社会資本へ投下することなどにより、近代的なまちへと発展を遂げました。しかし、戦後の混乱期、まちを覆う暴力・青少年非行の横行、ばいじん公害の深刻化などを改善するため、「緑化運動」、「花いっぱい運動」、さらに「彫刻事業」など、アートにより地域の諸問題を少しずつ解決していこうと市民が動きました。

現在、宇部市は、急激な人口減少・流出、中心市街地からの小売店の相次ぐ撤退による空洞化など再び大きな問題に直面しています。先人たちが、まちの諸問題に果敢に取り組んできたことに学び、今再び私たちが、まちをよみがえらせることに挑戦できる機会を与えられているのかもしれない。

このまちには、さまざまな創造の可能性が、点のように散りばめられています。仮称「UBEアートコミュニティ」は、それらの点をむすぶことを通して、ミッションを実現していきます。

## 仮称 「UBEアートコミュニティ」のおもな活動

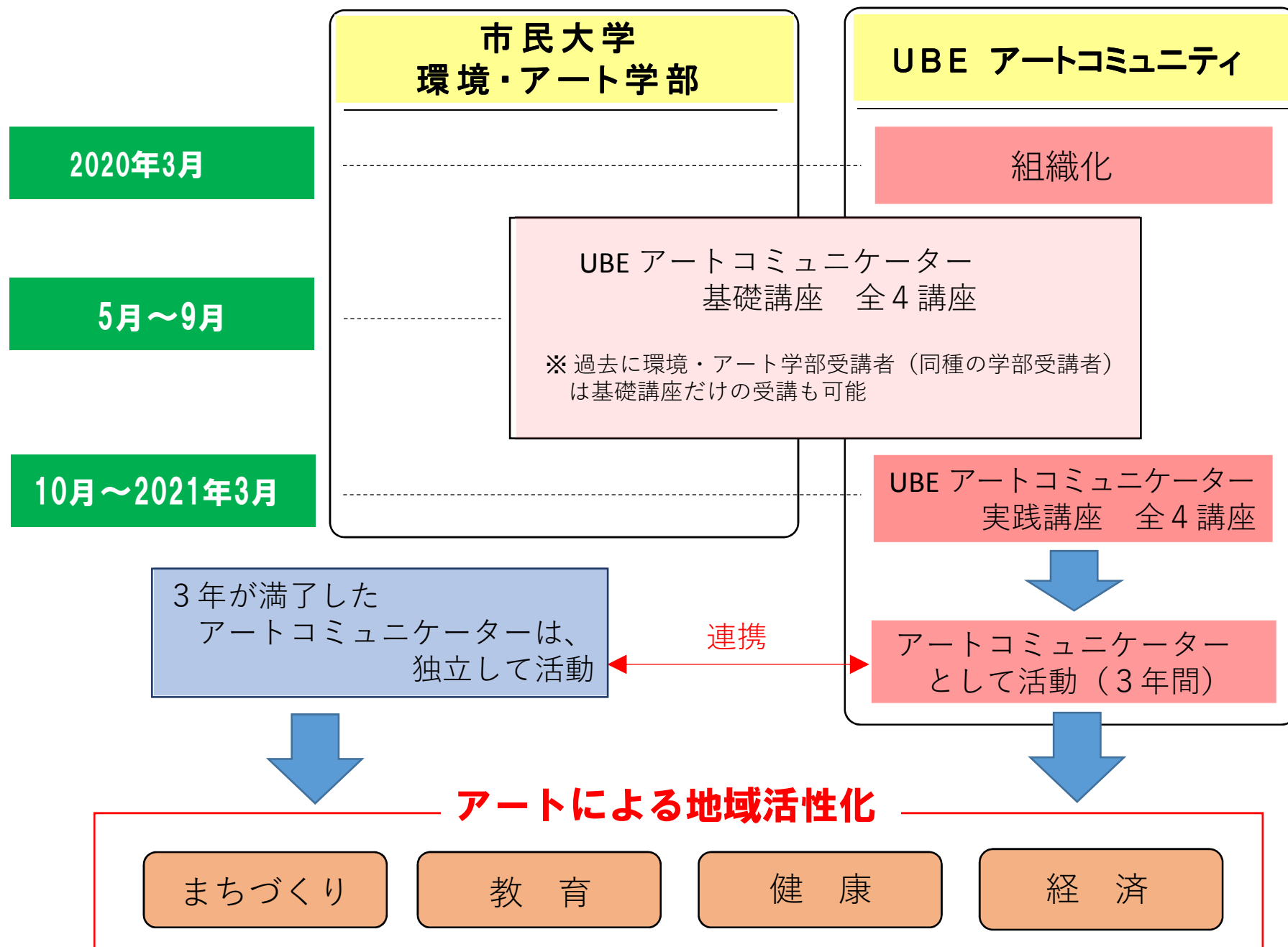
### 1.市民の創造的な活動を支援する

- 文化芸術活動に関する対面相談サービス
- ウェブでの情報提供、レクチャーの開催
- アートコミュニケーターを介した創造的なコミュニケーションの場づくり

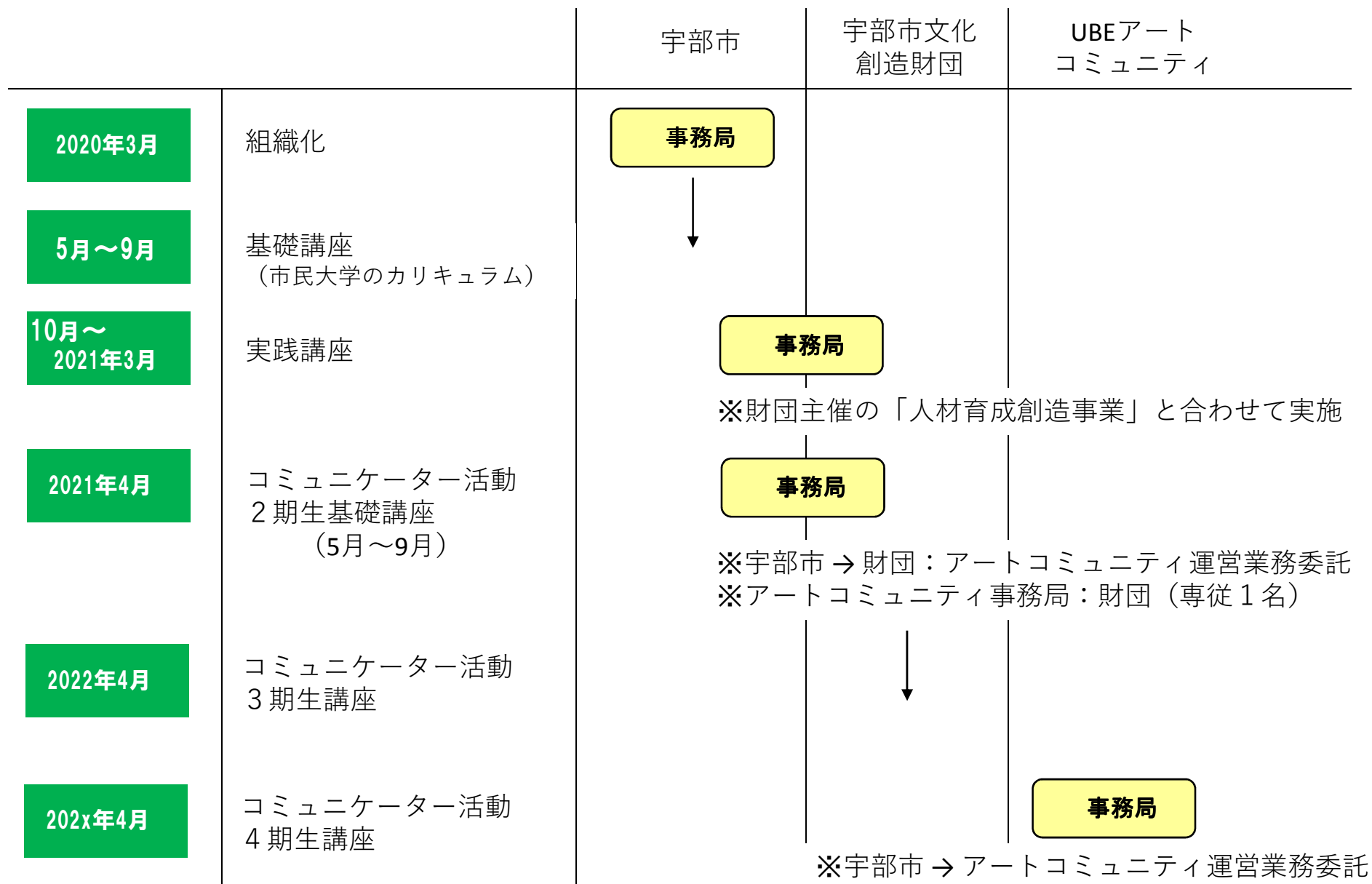
### 2.誰もが気軽に文化芸術にふれられる機会を創出する

- アーティスト・企業等との協働によるイベントの開催
- 創造体験のワークショップなどの開催
- 自主文化事業の実施

# 今後のスケジュール



# UBE アートコミュニティ運営の役割



宇 部 市

宇部市文化創造財団

UBEアートコミュニティ  
事務局

アートによる地域活性化

職員研修の一環として  
市民共同のまちづくり  
の手法を学ぶ

**職員ワークグループ**

UBEアートコミュニティ

- ・アーティスト
- ・地元市民
- ・その他

一般アートコミュニケーター

# 「野外彫刻・アートによるまちづくり活性化プラン」説明会

## アートコミュニケーターで「やってみたいこと」「学んでみたいこと」

- 瀬戸芸の中で大きな役割を果たしているのが「こえび隊」だと思います。作品の制作や撤収以外に受付・案内があり、そこでのアートとつなぐ役割が重要だと思ってます。自分がそこでもてなされた事で、その旅がとても良い思い出になった経験があり、自分もこえび隊に入ってみて活動しましたが、もてなされたお客さんの反応がすこぶる良いのでアートコミュニケーターはとても大事だし、必要だと思ってます。 P.S. popなネーミングが大切ですね
- 街中の彫刻をもう少し増やしてほしい。
  - ・宴会帰りの人が歩いていて彫刻にぶち当たるような展示をする。
  - ・飲食店街にも彫刻を
- 西と東から町に入るのに、これが彫刻の街 宇部とわかる様に大きく設置するといいなと思った。
  - ・東は設置してあるが西はよくわからない。
- 駅の近くに少しまとめて彫刻があると時間街の時に見ることができる。
- やってみたいこと
  - ①劇の台本を作ってみたい（学校の教員目線）
    - 彫刻のビエンナーレが始まったきっかけや市民活動が分かるもの
    - 中学生が宇部タイム（中1）で学習（総合的学習の時間）しているので、その中で発表できるような宇部の歴史・市民（女性の活動）・花いっぱい運動と絡めて
  - ②もっと彫刻を楽しむ提案をする（子育てママ目線）
    - 工作+その彫刻になりきる workshop + 写真撮影会 #（ハッシュタグ）のイメージは picture & sculpture
      - ↑ この中で作家さんや作品の歴史などを母なども学べる
      - 保育園でも取り組んでもらえたりするようなもの（子育てサークルも）
- 学んでみたいこと
  - ・彫刻を楽しむってどういうことなのか
  - ・鑑賞するバリエーション
  - ・宇部の知らない 実はとってもよい彫刻 ← もはや近所以外あんまりわからない

# 「野外彫刻・アートによるまちづくり活性化プラン」説明会

## アートコミュニケーターで「やってみたいこと」「学んでみたいこと」

- UBEビエンナーレによる作家の作品が増えるだけでなく、訪れた人々の行為によって積み上げられ完成していくような作品＝場所があればいいと思います。  
参加すること、継続されていくこと、で作品が作られていくのは面白い。と思います。
- 芸術で街をつくる／「都市のリビング」をつくる  
作品そのもの（彫刻、絵画、焼き物、木製品）と表現されるアート（踊り、演劇、朗読、パントマイム、音楽）との合同作品（コラボ）の場所づくり
- 宇部の歴史を知れるような街歩き
- 美術（アート）についてを学べる（教えてもらえる）場
- 人がくつろぎ集まれる場所、時間についてのワークショップ（街の活性化のため）
- アートで人の心を豊かにする。 → ソフト面のまちづくり
- アートによる人と人の絆づくり
- アートの良さを見つけるには アートに関心を持つ動機づけ 「聞く力」を磨くために必要なことは
- 触れる彫刻巡り  
→ビエンナーレの会場でボランティアをしてたが、「どうぞ触れてみて下さい」「どうぞ座ってみて下さい」というと多くの方が「えっ！ いいんですが」と驚かれました。 野外彫刻の良さが知られていないようです。
- 同じテーマ（例えば鳥、少なければ動物全般でもよい）彫刻探し
- 同じ材料（例えば石）探し  
→同じ石でも彫刻としての生かし方が違うと受け取れるものが全く違ってくる
- アートコミュニケーターの話ではありませんが、藤原先生のお話を聞いて思ったのは、彫刻の丘が彫刻に“占領”されていて、彫刻を見に行く以外は近寄りません。例えば、区画の真ん中に彫刻を置くのではなく、端において対角にベンチを置く、その間は自由広場として子どもが遊べる空間にするなどということをしてみたらどうでしょうか。

# 「野外彫刻・アートによるまちづくり活性化プラン」説明会

## アートコミュニケーターで「やってみたいこと」「学んでみたいこと」

- 子どもたちへの教え方
- 小学校の彫刻教育がアートコミュニケーターにより広がりをもせるといい
- 「ここに、この彫刻を置いてみたい！」 プレゼンコンテスト
- 宇部にある彫刻そのものや作家さんに関する知識
- ビエンナーレに関わってきた人たちの歴史
- 野外彫刻全般（UBEビエンナーレの世界的な位置付け）
- 作品鑑賞のこつ
- みんなで同じ彫刻を描いてみる。 簡単な素材を使って作ってみる。
- アウトリーチ
  - 福祉施設やデイサービスなど美術館に来ないひとたちとのつながり チャンネルづくり